

## 平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震に伴う対応状況

〔平成 20 年 6 月 17 日 16 時 00 分現在  
総務部 総合防災室〕

平成 20 年 6 月 14 日 8 時 43 分に震度 6 強が発生したことに伴い、岩手県災害対策本部を 6 月 14 日 8 時 43 分に設置し対応しておりますが、17 日 16 時 00 分現在の被害情報及び対応状況等についてお知らせします。

### 災害救助法の適用

一関市：平成 20 年 6 月 14 日（土）

北上市、奥州市、金ヶ崎町及び平泉町：平成 20 年 6 月 14 日（土）

## 1 住民等の被害

### （1）人的被害：死亡 2 名、負傷 37 名

- ・奥州市 死亡 1 名（胆沢ダム工事現場）  
負傷 32 名（玉里保育所 7 名、バス転落 8 名、その他 17 名）
- ・一関市 死亡 1 名（交通事故：地震に驚き飛び出し）  
負傷 2 名（土砂崩れ 1 名、倒壊家屋 1 名）
- ・藤沢町 負傷 1 名（家を出た際に捻挫）
- ・平泉町 負傷 1 名（避難中に骨折）
- ・花巻市 負傷 1 名（避難中に負傷し、16 日医療機関受診後骨折が判明）

### （2）物的被害

市町	被害棟数	被害状況
奥州市	70 棟	住家半壊（1）住家一部破損（69）
一関市	6 棟	住家一部破損（4）非住家（2）
北上市	5 棟	住家一部破損（1）非住家（4）
花巻市	3 棟	住家一部破損
金ヶ崎町	<u>25 棟</u>	住家一部破損
平泉町	6 棟	住家一部破損（1）非住家（5）
合計	<u>115 棟</u>	

## 2 施設関係の被害

### （1）医療機関等

18 施設で壁に亀裂、配管水漏れなど軽微な被害あり。

### （2）社会福祉施設等

老人福祉施設：15 施設で軒下石膏ボード落下、外壁亀裂

障がい福祉施設：11 施設で窓ガラス破損、天井一部落下、時計の破損など

児童福祉施設：19 施設で窓ガラス破損、天井・壁に亀裂、タイルの剥がれ

### （3）教育施設

被害のあった学校は次のとおり

#### 【公立学校】

花巻市：小学校 1 校、高校 1 校

北上市：小学校 6 校、中学校 5 校、幼稚園 1 園、社会教育施設等 5 施設、  
文化財 1 施設

奥州市：小学校 19 校、中学校 11 校、幼稚園 6 園、高校 5 校、社会教育施設等  
35 施設、文化財等 5 施設

金ヶ崎町：小学校 3 校、中学校 1 校、幼稚園 3 園、社会教育施設等 2 施設、  
文化財 2 施設

一関市：小学校 11 校、中学校 11 校、幼稚園 3 園、高校 2 校、社会教育施設等  
8 施設

平泉町：中学校 1 校

遠野市：高校 1 校

岩手町：高校 1 校

雫石町：高校 1 校

大船渡市：特別支援学校 1 校

釜石市：高校 1 校

1) 避難所となっている学校は、一関市本寺小学校（避難者 38 名）

#### 【私立学校】

専大北上高校、一関修紅高校、水沢第一高校、一関学院、岩手医大歯科衛生専門学校、修紅短大付属幼稚園、双葉幼稚園、瀧澤寺幼稚園、水沢学苑看護専門学校、大堤幼稚園、盛岡女子高校において、ガラス破損、校舎の壁にひびなどの被害。

#### (4) その他

いわてクリーンセンター

【焼却炉】機器冷却塔から水漏れ、ノズルが脱落し、コンプレッサー等の冷却機能が保てない状況から焼却炉立ち下げ。

【埋立処分場】固定工にひび割れ 1 箇所

【えさしクリーンパーク】食堂天井にひび割れ

産業技術短期大学校水沢校：体育館のトイレの壁と天井被害など

千厩高等技術専門学校：管理棟などの壁中心に損傷十数か所

県南広域振興局本局、北上総合支局、花巻総合支局において、亀裂、梁破損、内壁剥離など

### 3 公共土木施設

道路 全面通行止め 6 路線 9 区間

片側交互通行 3 路線 3 区間

河川 胆沢川：堤防天端にクラック有り。

磐井川：斜面崩落により河道内に土砂流入（2 箇所）

久保川：小規模な土砂崩落があり、堤防の一部にクラック発生。

尿前川：斜面崩落 2 箇所確認。

衣川支川有浦沢川：土砂崩落により河川閉塞。仮排水路を設置済

ダム 石淵ダム：堤体天端に湾曲あり。左岸下流法面に崩壊あり。

周辺道路通行止め。ダムの安全性に大きな問題は認められないことから制限水位で維持。

胆沢ダム：転流工土砂閉塞 土砂撤去済

砂防 衣川地区で地すべりの報告を受けて調査中 対応策検討中。

TEC FORCE、砂防ボランティア及び県職員の合計 61 名が危険箇所を緊急点検。

都市公園 水沢公園、見分森公園、北野公園、久保公園、高台公園で一部被害。

えさし藤原の郷：亀裂等の被害あり

県営住宅 住宅本体の被害なし。微小ガス漏れ 1 件 措置済

一般住宅 15 日に県庁に「被災建築物応急危険度判定支援本部」を設置

一関市：15 日、16 日に市職員と県職員で被災建築物応急危険度判定のための調査及び判定を開始。17 日も実施中：約 43 棟

奥州市：16 日から市職員と県職員で被災建築物応急危険度判定を開始。17 日も実施中：約 30 棟

西和賀町：16 日に県職員で被災建築物応急危険度判定を実施、終了

宅地 一関市において被災宅地危険度判定を市職員と県職員で開始

### 4 農林水産業施設

農地・農業用施設 40 箇所

水路：北上市等で 19 箇所 でパイプラインの破損など  
ため池：奥州市、金ヶ崎町の 14 箇所 でクラック等発生  
ダム：奥州市の 5 箇所 でクラック等発生  
揚水機：奥州市、一関市の 2 箇所 で配管破損

農業施設 25 箇所

耕種園芸：奥州市、北上市、一関市で倉庫・集出荷場のガラス等破損  
畜産：奥州市、金ヶ崎町、西和賀町でサイロ倒壊など

農作物 一関市、奥州市 13 箇所：水稲、花きに土砂流入し、倒伏

林業施設 68 箇所：林地崩壊 (31 箇所)、林道 (33 箇所)、特用林産施設 (4 箇所)

林産物 30 箇所：しいたけ栽培用の菌床落下

県有施設 生物学研究所、県緑化センター、林業技術センター、農業大学校、  
水沢競馬場で天井の破損、蛍光灯の破損、焼却炉煙突倒壊など

水産業 1 箇所：内水面養漁場のイワナ稚魚約 8 万尾へい死

**5 ライフライン**

水道関係 断水：811 戸  
奥州市衣川区北股簡易水道 15 戸  
奥州市衣川区衣川簡易水道 770 戸  
一関市巖美・萩荘簡易水道 26 戸

電力関係 東北電力：停電は全て復旧。

東北電力磐井川水力発電所で発電停止

電源開発：胆沢第一発電所が全停止中 (6月23日復旧予定)

【企業局】胆沢第二：運転再開、発電所建屋の窓ガラス破損

JR 全線通常運転

し尿処理施設 (1 箇所)、浄化槽 (4 基) に破損等の被害あり。

**6 企業**

・奥州市、北上市、金ヶ崎市、一関市、平泉町の企業の状況

【人的被害】避難時に負傷者 1 名

【物的被害】184 社程度の企業から被害報告あり。

奥州市 (99 社)、北上市 (7 社)、金ヶ崎町 (3 社)、一関市 (67 社)  
平泉町 (8 社)

**孤立者の救出状況**

(1) 須川地区

100 名が全員秋田県境へ自主下山完了

(2) 真湯地区

自衛隊へりと防災へりで瑞泉閣へ移送

47 名を移送完了

(3) 健康の森

100 名全員移送完了

(4) 石淵ダム付近

バス 20 名 うち 11 名 (怪我なし) は自衛隊へりで公民館へ収容

9 名は自衛隊へりで水沢高校へ移送

(うち 7 名は胆沢病院へ搬送)

20 名の移送完了

(5) 市野々原公民館

30 名孤立

30 名全員本寺小学校に移送完了

(6) 祭時大橋付近

40 名孤立

40 名全員移送完了

(7) 石淵ダム付近

放置車両 22 台確認：県警において安否確認済

### 避難所の状況

- (1) 避難勧告による避難実施：11世帯38名（一関市市野々原・祭時地区）
- (2) 自主避難実施：6世帯12名（奥州市胆沢、衣川区）

### 県警察災害警備本部にける被災者救助活動状況

- (1) 警察ヘリコプターによる救助者 23名
- (2) 孤立地域からの被災者誘導、救助（他機関との連携含む） 263名
- (3) 被災地（通行不能地域）における放置車両確認 73台
- (4) 土砂崩落により出現した「土砂ダム」に対する警戒
- (5) 避難所警戒、被災者支援活動
- (6) 道路損壊箇所における交通規制及び交通誘導

### 緊急消防援助隊等の状況

- 6月17日（火）4部隊24名
- 6月17日（火）10時45分 緊急消防援助隊の解除

### 【ヘリコプター、緊急消防援助隊、県内応援隊のこれまでの活動状況】

#### ヘリコプターの活動

- 14日 防災ヘリコプター9機（岩手県、札幌市、青森県、福島県、栃木県、茨城県、東京消防庁、横浜市、川崎市）  
県警ヘリコプター3機（岩手県、青森県、千葉県）  
自衛隊ヘリコプター4機（OH1機、UH3機）  
海上保安庁ヘリコプター4機
- 15日 防災ヘリコプター8機（岩手県、札幌市、青森県、栃木県、茨城県、東京消防庁、横浜市、川崎市）  
県警ヘリコプター4機（岩手県、北海道、警視庁、千葉県）  
自衛隊ヘリコプター4機（OH1機、UH3機）  
海上保安庁ヘリコプター4機
- 16日 防災ヘリコプター4機（岩手県、札幌市、横浜市、川崎市）  
県警ヘリコプター3機（岩手県、北海道、千葉県）  
自衛隊ヘリコプター4機（OH1機、UH3機）  
海上保安庁ヘリコプター4機

3日間 延べ43機

#### 緊急消防援助隊の活動

- 14日 146部隊（航空隊含み）
- 15日 63部隊（航空隊含み）
- 16日 6部隊（航空隊含み）

#### 県内応援隊の活動

- 14日 17部隊 55名
- 15日 17部隊 55名
- 16日 12部隊 40名

### 【今後の支援策等】

- 地域振興部：災害応急対策資金のあっせん  
普通交付税（市町村分）の繰上交付  
市町村税の災害減免等に関する対応

被災市町村に対する業務上の配慮

環境生活部： 県内外の複数企業から各種生活関連物資の無償提供の打診があるが、現在、市町村では地元対応で足りている状況を知らせるとともに、必要に応じて両市の災害対策本部窓口を紹介している。

社団法人日本水道協会岩手県支部と応援体制の整備に係る協議を実施。

岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合及び岩手県公衆浴場業生活衛生同業組合に対して協力の依頼を行なった。

商工労働観光部：中小企業者対策

中小企業者等への相談窓口の設置と巡回相談等の実施

金融支援：岩手県中小企業災害復旧資金

政府系金融機関にける災害復旧貸付制度

観光関係 観光関係の被害情報を収集、発信

県土整備部：砂防 TEC-FORCE、砂防ボランティア及び県職員の合計61名が危険箇所を緊急点検

一般住宅 一関市、奥州市で16日から被災建築物応急危険度判定を実施中。

宅地 一関市の被災宅地危険度判定の実施中。

農林水産部：農業 金融対策、農業共済対策、技術対策、農業施設の復旧など  
林業 林地崩壊への対応、養殖業者への技術指導など

保健福祉部：救急医療への対応

保育所被害状況の把握

災害応急救助の実施

避難住民の健康管理対策